



在学生からのメッセージ

環境と人間社会の融合について広く学んで視野を広げ、**環境の専門家と一般市民の架け橋になる**、この学問の中で自分のやりたいことが見つけられれば。【2回生】

理論ばかりでなく、**自分の目で見、五感で感じ取ったという実感があります**。個性的な仲間と共に、幅広く学べる環境です。【2回生・女子】

現場主義を重視する授業を経験し、**自分の目や身体で体験し、判断することの大切さを知った**。これは今後あらゆる場面で活かすことが出来ると思う。【4回生】



社会の中で自分の力が活かせる、普通の学生生活をしていてはできない体験はこの大学からできるのだと思います。【3回生】



4回生 後期

4回生 前期

↑

3回生 後期

3回生 前期

↑

2回生 後期

2回生 前期

↑

1回生 後期

1回生 前期

↑

卒生のステップ



- 英語III
英語IV
第2外国語II
人間にとって環境とは何か
びわこ環境行政論
- 英語III
英語IV
第2外国語II
情報処理演習II
健康・体力科学II
人間と自然界
- 英語I
英語II
第2外国語I
健康・体力科学I
情報科学概論
- 英語I
英語II
第2外国語I
情報処理演習I
人間探求学
環境マネジメント総論

- 環境学原論
応用統計学II
環境政策学
環境計画学
- 応用統計学I
- 環境科学概論II
応用数学
- 環境科学概論I
基礎統計

- 卒業研究
政策計画演習IV
- 政策計画演習III
- 政策計画演習II
環境シミュレーション
- 政策計画演習I
イベント計画論
イベント計画演習
環境監査
環境マネジメント演習
- 社会システム分析設計
社会システム分析設計演習
合意形成支援技法
合意形成支援技法演習
環境アセスメント
環境アセスメント演習
- 環境フィールドワーク2
ファシリテーション技法
ファシリテーション技法演習
環境情報演習
GIS演習
- 政策形成・施設演習
地域調査法演習
- 環境フィールドワーク1
地域調査法

- 環境倫理学
国際環境資源論
地域環境保全学
水環境管理学
- 廃棄物管理論
環境会計
環境フィールドワーク3(通年)
コミュニティ計画論
- 地域環境政策論
環境法II
環境社会学
環境経営論
エコロジー経済学
地球環境システム論
- 環境法I
まちづくり実践論
水環境政策論
環境経済学
地域開発論
資源経済学
景観計画
- 持続可能社会論
経済学II
- 地域システム論
市民参加論
経済学I



優秀卒論賞に輝く二人



2008年度の卒業論文

■混住地域における住民活動と水辺再生の可能性に関する研究 ■自治会の水環境保全活動の促進に果たすソーシャルネットワークの役割に関する研究 ■定年退職男性の環境ボランティア団体所属に対する2007年問題の影響に関する研究 ■地域ぐるみによるホテル保全活動の促進に関する研究 ■学校施設を対象とした市民共同発電所の事業モデル構築に関する研究 ■将来的な公共交通施策の構築に向けたデマンドタクシーの問題点および今後の課題に関する研究 ■フィリピン・パヤタス地区における開発NGOの援助活動と組織間関係に関する研究 ■河川における不法投棄廃棄物の地理的発生要因についての研究 ■循環型社会形成推進交付金制度の実施状況の把握とその評価 ■小売店の販売データからみた環境配慮商品購入率への影響要因について ■自治体における家庭系廃食油の回収・リサイクルの実態把握及び方法の比較評価 ■環境ボランティア参加ライダーを対象としたエコライディングの普及に関する研究 ■「もったいない」の継続的な記録を用いた環境行動を促すシステムの作成と効果 ■食堂事業者への地元野菜供給における課題とシステム提案 ■環境アセスメントにおける事後調査の動向に関する研究 (一部抜粋)

なんと 卒論が本になりました!



ブラックバスがいじめられるホントの理由—環境学的視点から外来魚問題解決の糸口を探る 青柳 純 (つり人社 2003/06)

地域に根ざす!

環境問題はゲンバにある!!

だから、現場で学ぶことを大切にしています。

多様な分野のスタッフ

富岡昌雄 教授	農業経済学・資源環境経済学
秋山道雄 教授	経済地理学、環境地理学
井手慎司 教授	水環境管理
金谷健 教授	廃棄物管理
高橋卓也 准教授	環境経営(企業経営と環境対応)、資源・環境経済学
鶴飼修 准教授	地域活性化、まちづくり、コミュニティ・ビジネス、NPO
近藤隆二郎 准教授	環境社会システム、環境計画
香川雄一 講師	環境地理学
林宰司 講師	南北環境問題、国際貿易・直接投資と環境に関する政策

主な進路

●官公庁、公社、公団、NPO ●滋賀県庁、彦根市役所、栗東市役所、大津市役所、京都府警、滋賀県警、愛知県警、近畿郵政局、北陸農政局、関西国際空港(株)、淡海環境保全財団、彦根商工会議所、滋賀県共済農業協同組合連合会、北びわこ農業協同組合、グリーン近江農業協同組合、レーク伊吹農業協同組合、伊香郡消防組合、岐阜県庁、消防庁、横浜市役所、国税庁大阪国税局、春日井市役所、尼崎市役所 ●民間企業(環境系) ●(株)ダイナックス都市環境研究所、(株)日本環境カウンセラー、日本上下水道設計(株)、中外炉工業(株)、(株)エフビコ、総合科学(株)、応用技術(株)、(株)オオスミ、(株)サニックス、アマタ(株)、関西水理(株)、(株)地域計画建築研究所 ●民間企業(情報系) ●日本アイビーエム中部ソリューション(株)、富士通関西システムズ(株)、富士通エフ・アイ・ビー(株)、(株)富士通ソーシアルシステムエンジニアリング、(株)日本ビューレット・バックカード、朝日メディアインターナショナル(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、日本情報産業(株)、ユニシステム(株)、デアンドアイ情報システム(株)、(株)データ通信システム、(株)有線ブロードネットワークス、(株)システムリサーチ、中央立体図(株)、日本ソフト開発(株)、中央コンピューター(株)、大津コンピュータ(株)、(株)日本ソフトプレーン、(株)サイバーリンク ●民間企業(製造業) ●山之内製薬(株)、日本ペーリンガー・イングハイム(株)、大日本印刷(株)、(株)日本アルミ、大阪シーリング印刷(株)、(株)たねや、フジノ食品(株)、フジパン(株)、(株)一保堂茶舗、(株)観翠園、(株)浜木綿、寿食品工業(株)、サラヤ(株)、(株)大新社、(株)ワコー、(株)篤谷鉄工所、丸栄コンクリート工業(株)、(株)清水合金製作所、仁丹ミラセルびわ湖(株)、夏原工業(株)、野原電研(株)ヤンマー(株)、日本ペイント(株)、田辺三菱製薬(株)、(株)村田製作所、ザ・バック(株)、(株)島津製作所 ●民間企業(住宅・建設業) ●住友林業(株)、(株)長谷工コーポレーション、大和ハウス工業(株)、(株)一条工務店、(株)秋村組、サウザ住宅(株) ●民間企業(卸売業小売業) ●(株)ダイエー、(株)セブンイレブンジャパン、(株)ファミリーマート、サークルケイ・ジャパン(株)、(株)平和堂、(株)内田洋行、ファーストリテイリング、(株)ミキハウス、(株)コメリ、関西ビバレッジサービス(株)、近畿三菱自動車販売(株)、滋賀ダイハツ販売(株)、滋賀スバル自動車(株)、伊丹産業(株)、(株)たけうち、(株)ファイプスター、(株)大創産業、イオン(株) ●民間企業(報道・教育系) ●滋賀夕刊新聞社、大阪読売サービス(株)、(株)公文教育研究会 ●民間企業(観光・レジャー系) ●(株)よみうりランド、(株)読売ツアー・サポート21、アミューズトラベル(株)、リゾートトラスト(株)、信和ゴルフ(株)、西日本旅客鉄道(株) ●民間企業(その他) ●(株)滋賀銀行、東京海上火災保険(株)、西濃運輸(株)、佐川急便(株)、(株)パソナ、社会福祉法人富山聖マリア会、野村マイクロ・サイエンス(株)、トータルメディカルコンサルタント(株)、(株)リクルーティング・デザイン、(株)エムアンドエムサービス、(株)ジェイエスピー、エース交遊(株)、(株)びわこ銀行、(株)みずほフィナンシャルグループ ●大学院進学 ●滋賀県立大学、東京工業大学、横浜国立大学、名古屋工業大学、大阪市立大学、神戸芸術工科大学、甲南大学、関西学院大学、福井県立大学、東京大学

滋賀県立大学 | 環境科学部 環境政策・計画学科 Department of Environmental Policy and Planning

井の中の蛙、大海を知らず

はじめに

環境と調和した社会の形成が21世紀の最大の課題のひとつとなっています。この課題に応えるためには、意識的かつ積極的な社会への関与が必要です。本学科では、社会を形成している企業、政府、市民の行動を環境調和型に導く政策、計画、実践の技法を身に付けるための教育を行っています。そのため、社会と自然の双方に対して強い関心を持つとともに、既存概念にとらわれることのない柔軟な思考力とコミュニケーション力を持つ学生を求めています。

自然科学から人文・社会科学まで、問題の発見・解明・解決という一連のプロセスにおいて必要となるものをそろえている点に特徴があります。

3つの「学びの」

ポイント

考え、行動し、

実践的な演習が多くの手法を学んだり、プレゼン能力・プレゼン身につけることが

現場で役立つ実践的スキルを習得します

実践的で多様なスキルを身に付ける事ができ、卒業後には公務員・企業の環境部門等や、環境コンサルタントとして、理論だけでなく現場でその力を発揮できます。

取得可能な資格

社会調査士
高等学校教諭一種免許(公民)
学芸員

入学試験科目 環境政策・計画学科では、いわゆる文系からでも理系からでも受験できるよう、入試科目を設定しています。(括弧内は配点)

	センター試験	個別試験
前期	国語(100)、数学から2科目(200)、英語(100)	英語(200)
後期	理科から1科目(100)、地理歴史・公民から1科目(100)	総合問題(200)
	5教科6科目 600点	

環境政策・計画学科 <http://depp-usp.com/>

滋賀県立大学HP 大学インフォメーション
<http://www.usp.ac.jp/japanese/campus/gakubu/kankyo/syakei.html>

滋賀県立大学 〒522-8533 彦根市八坂町2500
Tel: 0749-28-8200 Fax: 0749-28-8470

このパンフレットは、環境計画・政策学科の卒業生が作成しました。

2009.8

文理を問わず幅広い視野から環境に挑みます

環境政策・計画に係わる科目は、文系と理系の幅広い分野にわたります。文理両者の基礎知識と方法論を学びながら、自分が得意な分野を伸ばすことができます。

自分自身で実践します

少人数制の授業や、合意形成コミュニケーション能力を高めることができます。